

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木2-3-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
e-mail info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

読んで納得 わか
木材建材ワイワレ
Japan Lumber Reports
電子版

木材・建材ハンドブック
木材新聞の用語辞典リニエール
12月発刊、ご購入はHPから
日刊木材新聞 検索

主な記事
▽2面 松本材木店 災害にも強い「緑風の家」
▽3面 〇 開発
▽4～6面 広島高尾 統計とおりの停滯
▽7面 富士岡山運搬機 国内初上陸の小型チップパ

今後の稼働「大きく低下」は1割未満

4号特例の縮小、8割以上が影響懸念

ネットイーグルのプレカット工場アンケート調査

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)が全国のプレカット工場を対象に2月10日まで実施したアンケート調査によると、工場の今後の稼働状況について「少し低下する」が46.8%あったが、「今までどおり」が31.5%、「増加する」も11.1%あり、「大きく低下する」との見方は9.3%にとどまった。一方、2024年の建設業の時間外労働時間の制限では6割以上、25年の4号特例の縮小では8割以上が「影響が出る」と回答した。調査は1月10日～21日に1社に送付し、216率は71.8%。月10日まで実施。30社の回答を得た。回答 今期の稼働状況につ

いては「今までどおり」が37.0%と前年調査の45.8%に比べて減少する一方、「少し低下した」が30.1%(前年は26.2%)、「増加した」が25.0%(同20.0%)といずれも増え、二極化の傾向が見られた。た

だ、「大きく低下した」は7%(同6%)にとどまり、おおむね堅調に推移した。ウッドショックの影響については「大きくプラス」が26.9%(同17.3%)、「ややプラス」が35.6%(同37.8%)で、プラスの評価は62.5%(同55.1%)と前年に比べて増えた。

「木材価格の高騰がいつまで続くか」では、「わからない」が44.4%と最も多く、6%、「現場」が22.2%、「あと3ヵ月」が22.2%、「あと6ヵ月」が15.7%、「1年」が7.9%と続いた。建設業の時間外労働の上限規制については、「知っている」が66.2%。このうち、「影響が大きい」が11.9%、「影響ある」が51.0%で、影響を懸念する声が62.9%に上った。

どの部門に影響が出るか(複数回答)では、「CAD」が33.4%、「工場」が31.6%、「現場」が22.1%だった。CADオペレーター不足は「強く感じる」が28.2%、「少し感じる」が44.0%、職人不足は「強く感じる」と指摘する。

同社では「ウッドショックの反動より24年問題、25年問題の方が影響が大きいと考えている企業が多いことが分かった。対策として生産性を向上させるパネル化や非住宅プレカット、DX化が鍵になる」と指摘する。

「木材価格の高騰がいつまで続くか」では、「わからない」が44.4%と最も多く、6%、「現場」が22.2%、「あと3ヵ月」が22.2%、「あと6ヵ月」が15.7%、「1年」が7.9%と続いた。

建設業の時間外労働の上限規制については、「知っている」が66.2%。このうち、「影響が大きい」が11.9%、「影響ある」が51.0%で、影響を懸念する声が62.9%に上った。

どの部門に影響が出るか(複数回答)では、「CAD」が33.4%、「工場」が31.6%、「現場」が22.1%だった。

同社では「ウッドショックの反動より24年問題、25年問題の方が影響が大きいと考えている企業が多いことが分かった。対策として生産性を向上させるパネル化や非住宅プレカット、DX化が鍵になる」と指摘する。